

2018/9/19 (水) :

JAXA見学記



9/19 (水)、久しぶりの秋風爽やかな絶好の日和に、最近では、種子島のロケット打ち上げが相次ぎ成功を収め、人気沸騰中で、かなり難しそうなのを承知の上で、「技術の進化」をスタディする為、自由参加ながら、10:30 a.m.の定刻に横浜線・淵野辺駅に、お集まりいただいたのは6人の方々でした。

今回は、下見方々、来年4月以降の「社会見学会」の対象先として如何なものだろうかとの気持ちでしたが、初秋の「ウォーキング」を兼ねてのプランニングは、予測通り、お天道様にも恵まれ、片道30分程度の歩行も、少し汗ばむ程度で、出足快調との予感を抱かせました。

広大な敷地に、道路を挟んで、「JAXA交流館」と「相模原市博物館」が、コラボよろしく、「宇宙関係のイロハ」が理解しやすいように補完関係にあり、入館料も無料、かつ小ぎれいな職員食堂でランチも利用できるなど、堪能できました。

さらには、博物館の「プラネタリウム」は、当日の夜に見える星座などを紹介する『星空案内』と『テーマ解説』の二部構成で、実に見ごたえある内容でした。

皆さんからも「百聞は一見に如かず」で、時間的にも余裕があって、良かったのではないかというご意見が多数を占めました。

私なりに判断するに、団体行動よりも、ご自身で尋ねられ、時間に追われることも無く、一日を有意義に過ごすには、もってこいのところと思い、ご推奨いたしたいと思います。

尚、分科会の「湘現・社会見学会」では、現在、新しい会員さんも入会され、この10年間で、比較的好評だった見学先を、次回には再現してみたいと考えています。

(幹事：堀河 勲)